

北海道知事賞入選

中学生に「税」に対する関心と理解を深めてもらおうと実施している「第30回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」において、妹背牛中学校2年生の菊入優里さんの作品が「北海道知事賞」に入選しました。全道152校から3,576点の応募があり、知事賞入選の25点の一つに選ばれました。「道税で守る笑顔の未来」と題した作品は明るいタッチで、中央に描かれている北海道には何枚もの家族写真が貼ってあるアルバムのように描かれ、色鮮やかに仕上げられた作品。3月2日、中学校校長室において表彰され賞状が贈られると、嬉しそうな笑顔を見てくださいました。



カーリング全国優勝

2月18日より青森で開催されていた「第11回全国高等学校カーリング選手権大会」において、妹背牛町より出場していた「チーム妹背牛」が見事優勝を果たしました。選手たちは金色に輝くメダルを胸に3月3日、寺崎町長の元へ優勝報告に訪れました。4月からは大学生となる選手たち。寺崎町長からは「優勝おめでとう。本当にうれしく思います。今後も成長された皆さんの活躍を楽しみにしています」と期待が寄せられ、選手からも「自分たちのがんばっている姿を妹背牛の人に見てもらおうことが恩返しになると思う」と感謝の気持ちを述べ、選手たちはすでに次期大会を見据えた様子で、これからの活躍が期待されています。



消防功労者表彰

3月7日、妹背牛消防庁舎において消防功労者の表彰が行われました。去る2月2日に1区で発生した火災において、火災を早急に発見し、火元住民や近隣住民に火災を知らせ避難させ被害を最小限とした、佐々木和夫さんに感謝状が贈られました。佐々木さんは買い物帰りに火災を発見通報。火元の家には老夫婦が住んでいて、ご主人は足が不自由だと知っていたため、火事だということを知らせ、近隣住民にも救助を依頼し無事に避難させました。「町内の方の助けがあったからこそ無事に救出できた。地域のつながりの大切さを感じました」と話されました。



未来へ向かって翔け

保育所からずっと共に過ごしてきた、21名の子どもたち。この春、中学を卒業し、それぞれの夢に向かって新たな道を進んでいきます。そんな子どもたちに何か思い出を残してあげたいと、夏から構想を練り、卒業生の父母が協力し合って中学校の玄関前に高さ40cmほどの可愛い雪だるまを作りました。「形を整えるために何度も頭をなでていると、わが子のように思えてくる」と話しながら、雪の降る中作業が進められました。仕上げは、子どもたちと恩師の写真を付け、愛情のこもった25体の雪だるまが完成。3月12日の卒業式当日に、子どもたちをお出迎えます。(取材日3月10日)

